

# 環境保全の向上支援

交通エコロジー・モビリティ財団

グリーン経営認証  
リーダー研修会

環境に配慮した運輸

事業者の第三者認証制度「グリーン経営認証」を運営する公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団（東京）は、「グリーン経営認証リーダー研修会」を都内で開催した。認証事業者向けに最新情報の提供やレベル向上支援が目的。

同制度は運輸部門に有効な環境保全活動をまとめたグリーン経営推進マニュアルに基づき、審査・認定する。中小企業が容易に取り組めるのが特長。

研修会では、加藤信次交通環境対策部長が

制度や交通環境対策の活動状況を紹介した。トラック認証事業者の平均燃費は全国平均に比べ29・7%高く、取得2年後には約4・8%程度向上。事故、車両故障も1年目でそれぞれ24・4%、20・8%減少した。自治体や金融機関、業界団体の優遇措置も拡大。現在、認証事業所数は7355で、「制度開始から丸9年。ほぼ直線的に（右肩上がりで）伸びている」という。

また、谷口安男グリーン経営審査グループリーダー担当課長が地球温暖化対策や環境関連法規制を解説。「省エネは業務の改善、会社の改善となる。普段から改善のネタを考え、探すことが大事」と強調した。また、「法令教育は環境保全の大事な取り組み。資料は無理せずポイントを整理し、幅広くこまめに継続すると良い」と述べた。このほか、ティーエルトランスポート、東京ユニオン物流の2社が実践事例を紹介した。